



シーツ交換だって二人でやれば楽しいものだよ（詳細はP8）

やすらぎ

題字：野中ツナさん（特養住民）

No. 33

2006 秋号

平成18年9月25日発行

主な内容

住民の健康を祝う集い	P 2～P 3
ぶなの園長者番付	P 3
シリーズ「特養を考える」	P 4
地域との二人三脚	P 5
やすらぎ会夏祭り	P 6～P 7



民舞同好会の皆さんのしなやかな舞い

祝賀会の部

午後からはお待ちかね祝賀会の部。好みの飲み物やお菓子、おつまみをいただきながらまずは民舞

昼食会

昼食はバイキングの形式で、刺身の船盛をメインに和・洋・中の豪華な料理がテーブルに並びました。どの料理を取ろうか迷ってしまい、お皿を持ちながら行ったり来たり。自分で取りに行くことができないうちは家族や職員が好きな料理を取り分けてきて、おなかも心も十分満足するまで楽しんでいただきました。



どれを食べようか迷っちゃう!?

同好会による踊りをゆつくりと觀賞しました。しなやかで美しい踊りに観ている住民の表情もうつとり。最後には住民の唄に合わせて踊ってください、会場全体が和やかな雰囲気になりました。

そしてステージ後半は職員による余興と恒例のカラオケ大会。カラオケ大会では歌好きの住民の方々が自慢の美声を惜しみなく披露され、大きな手拍子がさらに場を盛りあげました。
ついついお酒やビールを飲み過ぎて顔を赤らめている住民もちらほら。来年もみんな元気にこの日を迎えられることを固く誓いました。

長寿と健康を 喜びあいました

ぶなの園住民の健康を祝う集い



歳祝いを迎えられた皆さんで記念撮影

九月は老人週間、敬老の日がある月です。ぶなの園では九月十五日、恒例の「住民の健康を祝う集い」が開催されました。

午前は交流スペースにて式典、午後は会場を食堂に移し賑やかな祝賀会。共に長寿と健康を喜びあい、楽しい時間があったという間に過ぎてしまいました。

式典の部

式典の部には岩手県知事、西和賀町長（それぞれ代理で県南広域振興局北上総合支局長、西和賀町保健福祉課長補佐）をはじめ多くのご来賓の方々にご臨席いただきました。

高橋マツエさんは今年六月で満百歳。町や県からの記念品だけでなく、内閣総理大臣からの記念の銀杯とお祝い状も授与されました。ご家族と一緒にそれらをしっかりと受け取られたマツエさん。百年という歳月の重みを、私たちが量り知ることはとてもできません。

その他、マツエさんのさらに年上の盛島チエノさんをはじめ今年度歳祝いを迎えられた方に個々に記念品等の贈呈がありました。全



百賀を迎えられたマツエさんとご家族

《歳祝い住民ご紹介》

- 百一賀（百一歳） 盛島チエノさん
- 百賀（百歳） 高橋マツエさん
- 米寿（八八歳） 黒淵マサコさん
高橋ハルノさん
高橋 カヨさん
- 喜寿（七七歳） 佐々木力司さん
佐々木巳之助さん

東		年齢	ぶなの園 長寿番付	西		年齢
横綱	盛島チエノ (新 町)	百一		横綱	高橋マツエ (前 郷)	百
大関	佐々ホシチ (両 沢)	九八		大関	高橋 スエ (川 舟)	九六
関脇	八重樫サノ (北上市)	九六		関脇	久保 サメ (泉 沢)	九六
小结	大島 キヨ (大 野)	九五		小结	斎藤 サタ (北上市)	九五
前頭	西田ホサキ (高 下)	九三		前頭	照井 ツル (新 町)	九三

※敬称略、年齢は今年度の満年齢
※平成18年9月15日現在の番付

シリーズ 特養を 考える

2

ターミナル ケアの現状 と課題

シリーズ『特養を考える』は、特養の解決困難な問題、サービスの提供側の悩みをありのままお知らせするコーナーです。今回は施設におけるターミナルケアの現状と課題について取り上げます。

その人らしい人生の締めくくりを

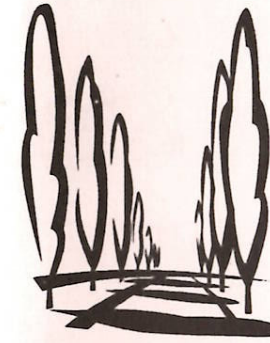
末期がんなどに罹患した患者に 対する、身体的および精神的苦痛 の軽減に主眼を置いた看護のこと を、一般に「ターミナルケア」と 呼びます。終末期ケアとも言ひ、 医療処置は延命を主な目的とする ものではありません。

このターミナルケアは、ぶなの 園のような高齢者福祉施設でも重 要視されています。高齢者にとつ ては、末期がんのような重い病気 でなくとも、慢性疾患や肺炎など によって重篤な状態に陥ってしま うことが多々見られます。体力的 な問題等で、残念ながら回復の見 込みが望めないと診断される場合

もあります。

回復を信じて、最善の治療を望 むのは当然の権利でしょう。しか し、人生の最期を病院ではなくこ れまで生活してきた場所で迎えた い(迎えさせたい)という願いも、 当然の権利なのです。

このような要望を受けて、ぶな の園では開設当初から「看取り介 護」を行なってきました。これま



で多くの方がぶなの園で最 期を迎えられました。課 題は少なくありません。

まずは夜間の医療処置の 問題があります。延命を主 な目的とする継続的治療は 行なわなくとも、苦痛緩和 や状態急変時の処置は必要 です。しかし、看護職員は 夜間は配置されていないた め、夜間緊急時の対応にど うしても不安があります。

さらに病院(担当医)と の綿密な連携は不可欠です。 痛みの緩和にしても、食事

や入浴に関する援助にしても、医 師の指示なしに実施することはで きません。この連携を軸に関係職 種がチームとして取り組む姿勢が なければ、施設での看取りは実現 しないでしょう。

そして居室の問題です。看取り 介護ではできる限り「自宅」に近 い環境を作り、なるべくご家族に も付き添っていただけて穏やかに 過ごせるよう配慮することが大切 です。本人にとっても家族にとつ ても個室対応が望ましいでしょう。 しかし、個室は現在十二部屋しか



施設と病院がチームとなって支援させていただきます

なく、変更は容易にはできません。 静養室はありますが、外が見えず 好ましい環境とは言えない実状で す。

他にも課題はありますが、最も 重要なことはターミナルケアに 対する職員の意識です。長い人生の 終末期を援助させていただく重み を感じ、その方らしい人生の締め くくりを実現できるよう、職員一 人ひとりの意識の統一に今後も努 めてまいります。

特養介護主任 照井由美子

地域との二人三脚

地域の方に「こえ」を寄せていただくコーナーです。今回はデイサービスぶなの園にボランティアとしてご協力いただいている高元睦子さん、高橋佑子さんにインタビューした内容を掲載します。ボランティアをしてみようと思ったきっかけや感想など率直にお答えいただきました。



インタビューにお答えいただいた高橋佑子さん(左)と高元睦子さん

高橋 自然に接した方が いいかなと思つています。こちらから積極的に話しかけるだけではなく、相手の話に耳を傾け、相手のペースに自然に合わせるように心がけています。高元 聞き上手になることはとても大切だと思います。あとお話をしている感じるのは、相手のことをどの程度までお聞きしていいのかということ。プライバシーに関わるところまで聞いて失礼にならないか心配してしまいます。

デイサービスぶなの園でボランティア活動をしてみようと思つたきっかけを教えてください。

高元 私は自分自身が六十歳という人生の節目を迎え、福祉の現場を自分の目で見てみたいという思いがありました。また、父が現在地域の皆さんに支えられて暮らしているの、地域の方へのお返し

という気持ちもあります。

高橋 私は特別なきっかけがあつたわけではありませんが、ここに暮らしている以上、何かしらのかたちで地域に関わりを持ちたいと考えていたところ、募集のチラシを目にして申し込みました。

実際にボランティア活動をしてみて感じたこと、あるいは心がけていることなどはありますか。

最後にやすらぎ会に期待すること、あるいは高齢者福祉について考えていることをお聞かせください。

高元 身近にやすらぎ会という支えがあつて、介護する家族にとっては安心。ただし、お願いするだけでなく、家族も福祉に関心を持つべきだと思います。やすらぎ会にはそのリーダーとしての役割を



笑顔のふれあいで心が近づきます

聞き手 高橋 渉

期待します。高橋 利用者も職員もほとんどが地元の人で、みんなに同じように親身に介護されている様子が伝わってきます。大都市にはない長所だと思えますが、逆に馴れ合いになつてマイナスの面が出てこないように注意する必要があるのかもしれません。

雨にも負けず!!

第八回 やすらぎ会夏祭り

第八回を数えるやすらぎ会夏祭りは去る七月二十九日、盛大に開催されました。残念ながら当日は朝から梅雨空で、結局施設内での実施となりました。広場の舗装が整備されたこともあり、何とか外で開催したいという気持ちはありましたが、ステージ出演者や地域の方々と間近でふれあうことができ、屋内開催の良さも感じることができたのではないでしょう。

西和賀の夏はここから始まる



踊りを終えてからの思いがけない握手にまた感激



狭いステージでも演奏は迫力満点

【ステージ出演団体】

●西和賀高校吹奏楽部様

大勢の部員の皆さんにご出演いただき、馴染みの楽曲が心地良く会場内に響き渡りました。生演奏の迫力を存分に味わうことができたと嬉しかったです。

●カトレアの会様

趣味の域を超えた衣装と踊り。観る人を楽しませるだけでなく、自分たちが踊りを心から楽しんでいるといふ気持ちが非常によく伝わってきました。

●やよい子ども会様

夏祭りには二回目のご出演。大人顔負けのしなやかな踊りには住民の皆さんも大感激。踊りの後に

は住民席に握手をしに来てくださいました。

《住民のご感想》

『上手な演奏で楽器の音がきれいだった。生徒がたくさん来てくれてありがたい』 (刈田キヨさん)

『踊りは観るのも踊るのも大好き。お化粧もとってもきれいだっ』 (児玉 幸さん)

『子どもたちがかわいかった。最後に握手しにそばまで来てくれてうれしかった』 (南川トミさん)

【さんさ踊り・抽選会】

屋内開催で一番残念なのはメイ



さんさの太鼓に心も躍る



抽選会の景品は今年も超豪華

ンのさんさ踊りのスペースを十分に確保できないこと。太鼓の皆さんや踊りに参加してくださった皆さんに大変窮屈な思いをさせてしまいました。それでも多くの方が笑顔で輪に入ってください、最高の盛り上がりとなりました。その後の抽選会では嬉しい悲鳴と大多数のため息が交差し、夏祭りならではの光景で全プログラム終了となりました。

ご協力くださったボランティアの皆様、出演団体の皆様、ご来賓ご家族の皆様、そして雨の中ご来場くださった多くの地域の皆様にあらためて感謝申し上げます。

あゆみ

平成18年 6月～8月

6月1日 住民懇談会

5日 理容ボランティア

特養住民健康診断

課長会議

9日 特養住民健康診断

主任会議

16日 ホーム喫茶

高橋マツエさん百歳祝賀会

17日 toshiminiコンサート

19日 特養住民心電図検査

20日 特養住民心電図検査

課長会議

21日 「おおしま」出張販売

23日 防災訓練

28日 西和賀高校、金沢伏見

高校福祉体験学習受入れ

30日 西和賀高校ヘルパー養成研修オリエンテーション

7月3日 住民懇談会

看護師連絡会議

4日 理容ボランティア

課長会議

5日 買物ドライブ(横手方面)

8日 防災訓練

9日 田村周達さん特養退所(ご逝去)

10日 あやめ公園ドライブ

11日 入所検討委員会

12日 米沢ツルヨさん特養入所(泉沢)

18日 課長会議

24日 理容ボランティア

法人内部監査

26日 法人役員研修

29日 やすらぎ会夏祭り

特養家族懇談会

8月1日 住民懇談会

課長会議

6日 雪水祭り花火観賞

7日 看護師連絡会議

8日 理容ボランティア

主任会議

18日 ホーム喫茶

22日 課長会議

30日 評議員会

理事会



施設長 高橋 一雄

■「若い時は一日は短く一年は長い。年をとると一年は短く一日は長い」(ベーコン：フランソワ哲学者、政治家) 年老いてくると今日の日をどう暮らそうか、生きようかと迷うことだってあるものです。

■「その日その日が一年中の最善の日である」(エマソン：アメリカ思想家) 一日一日を楽しく、充実した暮らし方をしたいものです。

■「明日の百より今日の五十」今日の一つは明日の十にまさる。明日ある命と思わないで今日の日を充実したものにしたものであります。

■「一日清閑、一日福」(沈石田) 一日を閑静におくることは、この上ない一日の幸福であります。

■施設の中で交わされるあたたかなふれあいと確かな信頼感…。入所者の方々が明るく楽しい生活がおくれるよう、職員一人ひとりがご家庭にかわって、親身になって、やすらぎのあるもうひとつの家庭づくりをめざしていきます。

表紙の写真

ホームヘルプサービスを利用されている深沢ヤエノさん宅での一コマ。お話好きでシーツ交換をしている間も笑顔と話題は尽きません。

「きれいに撮ってくれなきゃ載せちゃダメ」…きれいに撮れたので載せちゃいました。



平成18年6月～8月

【ご寄付】

- ・井口文子様
- ・北島文子様

【ご寄贈】

- ・伊藤ミ子様
- ・大島商店様
- ・山田清栄様
- ・高橋ミツ子様
- ・吉田澄子様
- ・久保良子様
- ・猿橋小学校様

【ボランティア等】

- ・どれみの会様 (洗濯たたみ等)
- ・泉沢婦人会様 (ホーム喫茶、草取り)
- ・長瀬野婦人会様 (ホーム喫茶)
- ・高橋佑子様 (デイ支援)
- ・高元睦子様 (デイ支援)
- ・高橋キヤ様 (デイ支援)
- ・高橋良子様 (デイ支援)
- ・白菊婦人会様 (草取り)
- ・近藤優子様 (利用者介助)
- ・高橋昭士、和子様 (唄、三味線)
- ・おはなし「きらきら」様 (紙芝居等)
- ・民舞同好会様 (踊り)
- ・菊の会様 (唄、踊り)
- ・川舟保育所様 (踊り)
- ・第一小学校様 (唄、踊り)
- ・喜友会様 (唄、三味線等)
- ・高橋翔樹様 (利用者介助)
- ・沢内中学校様 (合唱)

あたたかい善意を頂戴し
厚くお礼申しあげます

〔発行・編集〕

社会福祉法人やすらぎ会
広報委員会

- 特別養護老人ホームぶなの園
- デイサービスセンターぶなの園
- ホームヘルプステーションぶなの園
- 西和賀介護相談室

西和賀町沢内字太田2地割135番地

電話 0197-85-2322

FAX 0197-85-2317

- 高齢者生活福祉センターかたくりの園

西和賀町沢内字大野17地割140番地1

電話 0197-85-3388

FAX 0197-85-3389

W・T

編集後記はどうしても季節の話になりがちですが、書かずには
いられない。
いや、今年の夏は暑かった。
連日の猛暑、猛暑で汗かきまくり、
ビール飲みまくりでした。
でも、今振り返るとやっぱり沢
内の夏は短かすぎます。七月が終
わって梅雨が明け、八月も終わり
になると朝晩急に冷え込んでくる。
この冷え込みを心地良く感じてい
られるのもほんのひとときだけ。
すぐに身体の芯までやられます。
ああ、ぞつとする…

編集後記